



2025年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東
コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 加藤 孝一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部門長 (氏名) 村上 雅治 TEL 03(3443)3711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	48,314	0.1	2,953	127.5	1,822	△45.0	2,240	△22.6	2,264	△19.9	△2,649	—
2024年12月期第1四半期	48,251	18.1	1,298	—	3,315	278.2	2,895	818.8	2,826	—	8,260	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第1四半期	34	18	34	14
2024年12月期第1四半期	42	70	42	65

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	比率	%
2025年12月期第1四半期	310,831	—	138,372	—	136,577	—	43.9	—
2024年12月期	325,563	—	142,005	—	140,070	—	43.0	—

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2025年12月期 (予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	109,000	6.2	4,800	75.4	5,300	△25.4	4,200	△29.5	63.42
通期	230,500	8.0	14,000	118.8	14,700	46.9	11,300	42.0	170.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) ー

除外 6社 (社名) 日機装(上海)実業有限公司、Nikkiso Europe GmbH及びその子会社4社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期1Q	69,175,664株	2024年12月期	69,175,664株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年12月期1Q	2,926,931株	2024年12月期	2,926,424株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期1Q	66,248,979株	2024年12月期1Q	66,182,931株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、米国による関税引き上げ政策とそれに伴う米中対立の激化の影響懸念、航空機メーカーの生産体制正常化に向けた不透明感、国内血液透析市場の需要減少、さらに円相場の乱高下など、先行きの予測が困難な状況が続いています。

インダストリアル事業の主要市場であるLNG分野では、中長期的なエネルギー安全保障の重要性が増す中、設備投資需要は引き続き拡大基調にあります。一方、次世代エネルギー市場においては、米国の気候変動政策の見直しをはじめ、地政学的要因の影響を受け、地域ごとに市場の進展速度や投資意欲にばらつきが生じています。

航空宇宙事業では、航空機産業の需要の回復を背景に、サプライチェーンの再構築や増産が進められているものの、部品供給の遅延や人材不足といった制約は依然として解消しておらず、不透明な状況が続いています。業界全体の回復が当初想定より遅れており、引き続き状況を注視していく必要があります。

メディカル事業の主要市場である血液透析市場では、日本国内は医療機関の設備投資意欲が低下しており、競争は激化しています。一方、海外市場においては、中国で2023年下半年から2024年上半年にかけて見られた一時的な需要減退からの回復が進むほか、欧州市場は堅調に推移し、タイを始めとするアジア地域でも市場拡大に伴い需要が増加しています。

こうした事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、インダストリアル事業では、受注済み案件の着実な遂行に加え、なかでも産業用ポンプ・システム事業における収益性の高い案件や販売価格適正化の取り組みが寄与し、増収増益を確保しました。航空宇宙事業は業界全体の回復遅れの影響を受けたものの、円安影響もあり営業損失は縮小しました。メディカル事業では、海外における血液透析事業が牽引し、増益となりました。

なお、事業ポートフォリオ再構築の一環として進めてきたCRRT事業の譲渡については、2024年12月期に、本譲渡に関連して128百万円の減損損失を計上しましたが、為替変動などの影響により譲渡資産額が減少した結果、当第1四半期に当該事業の譲渡益として455百万円を計上しています。（「調整額（全社費用等）」計上）

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高は52,523百万円（前年同期比4.0%減）、売上収益は48,314百万円（同0.1%増）、営業利益は2,953百万円（同127.5%増）となり、全体の売上収益はCRRT事業譲渡の影響により前年同期と同水準にとどまりましたが増益となりました。一方、円高の影響により為替差損を1,199百万円（前年同期は1,876百万円の為替差益）計上したため、税引前四半期利益は1,822百万円（同45.0%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,264百万円（同19.9%減）となりました。

② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2024年12月期 第1四半期実績	2025年12月期 第1四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	54,684	52,523	△2,160	△4.0%
工業部門	35,154	31,626	△3,528	△10.0%
インダストリアル事業	31,093	27,629	△3,463	△11.1%
航空宇宙事業	3,794	3,966	+172	+4.5%
医療部門	19,618	20,914	+1,295	+6.6%
売上収益	48,251	48,314	+62	+0.1%
工業部門	28,900	29,526	+625	+2.2%
インダストリアル事業	24,651	25,531	+880	+3.6%
航空宇宙事業	4,088	3,966	△122	△3.0%
医療部門	19,438	18,799	△638	△3.3%
セグメント利益	1,298	2,953	+1,655	+127.5%
工業部門	723	1,705	+982	+135.9%
インダストリアル事業	1,634	2,108	+474	+29.0%
航空宇宙事業	△535	△64	+470	—
医療部門	1,437	1,733	+296	+20.6%
調整額（全社費用等）	△883	△528	+355	—
税引前四半期利益	3,315	1,822	△1,493	△45.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,826	2,264	△561	△19.9%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ 2025年12月期第1四半期のCRRT事業に係る譲渡益の金額は「調整額（全社費用等）」に含まれています。

※ 2025年1月1日付の組織変更に伴い、2024年のセグメント実績は、組織変更後の区分で表示しています。

※ セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

《事業セグメント別の事業環境と事業概況》

事業	主要製品	2025年12月期 第1四半期の事業・受注環境	2025年12月期 第1四半期の業績概況
インダストリアル事業	液化ガス・産業ガス関連機器・装置	<ul style="list-style-type: none"> ・LNG市場は、エネルギー確保や低・脱炭素化に向けた需要が活況で、北米、欧州、アジア地域の液化・受入基地等の案件で活発な動きが継続。 ・水素、アンモニア等の次世代エネルギー市場においては、地政学的要因の影響を受け、地域ごとに市場の進展速度や投資意欲にばらつきが生じている。 	<p>主要プレイヤーであるCE&IGグループは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注済案件を着実に遂行し、売上収益及び粗利益は増加。 ・体制整備に伴う固定費の増加により、収益面では減益。 ・低・脱炭素市場に向けた技術・製品開発に加え体制整備を継続中。
	産業用ポンプ・システム	<ul style="list-style-type: none"> ・一部受注の期ずれにより、受注高は前年を下回るが、受注残の遂行に注力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好採算案件の集中や販売価格の適正化により、収益性の回復が継続。
	精密機器	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品市場は設備投資の調整局面が続くなか、受注高は前年を上回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売価格適正化の取り組みが奏功し、収益性は回復基調。
航空宇宙事業	民間航空機向け炭素繊維強化プラスチック(CFRP)成形品	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機産業では、需要回復に伴いサプライチェーンの再構築や増産が進展している一方、部品供給の遅延や人材不足といった制約が残っており不透明な状況が継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円安影響、前期からの段階的な販売価格の適正化等で、粗利益の回復は継続。一方、増産対応等により固定費は増加。
メディカル事業	血液透析関連製品	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の血液透析患者数は、中長期的には緩やかな減少傾向に転じる可能性があるものの、当面は横ばいの状況が続くと予想される。 ・患者数が世界最大の中国市場では、設備投資需要の拡大による成長が期待される一方、国産化政策の加速により現地メーカーの台頭が進んでいる。 ・経済発展を背景としたアジア市場の拡大も期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液透析装置の国内販売は、医療機関による設備投資意欲の低迷と競争激化の影響で前年を下回る。 ・海外販売は、中国市場における一時的な需要減退からの回復に加え、欧州及びアジア市場での販売拡大が寄与し、増収増益。 ・米国市場は、血液透析装置の販売許認可の取得に向けた対応及び取得後の拡販に備えた体制整備を継続。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は310,831百万円となり、前連結会計年度末に比べて14,731百万円減少しました。「営業債権及びその他の債権」並びに「売却目的で保有する資産」の減少が主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は172,459百万円となり、前連結会計年度末に比べて11,099百万円減少しました。「営業債務及びその他の債務」が減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は138,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,632百万円減少しました。「在外営業活動体の換算差額」の減少が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、全体として概ね計画通りに業績は進捗しており、現時点では連結業績予想を据え置きます。しかしながら、不確実性の高い事業環境が継続しているため、今後、各事業の環境変化の影響を見極め、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。なお、当該業績予想には米国関税政策による影響は織り込んでおりません。当該業績予想で前提としている為替レートは、150円/米ドル、160円/ユーロです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,663	38,786
営業債権及びその他の債権	70,644	62,503
その他の短期金融資産	2,047	1,732
棚卸資産	57,501	59,837
未収還付法人所得税	707	865
その他の流動資産	5,838	5,749
小計	171,403	169,475
売却目的で保有する資産	8,734	140
流動資産合計	180,137	169,615
非流動資産		
有形固定資産	53,369	51,322
のれん及び無形資産	38,013	36,334
使用権資産	24,013	23,049
持分法で会計処理されている投資	5,120	5,028
長期金融資産	20,971	21,825
繰延税金資産	2,846	2,652
その他の非流動資産	1,090	1,003
非流動資産合計	145,426	141,216
資産合計	325,563	310,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	9,105	6,471
営業債務及びその他の債務	28,915	23,844
リース負債	3,487	3,350
その他の短期金融負債	680	662
未払法人所得税等	1,494	366
引当金	1,404	1,284
その他の流動負債	35,665	37,228
小計	80,753	73,209
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	1,900	—
流動負債合計	82,653	73,209
非流動負債		
長期借入金	75,226	74,369
リース負債	19,395	18,678
その他の長期金融負債	109	43
退職給付に係る負債	1,227	1,180
引当金	1,514	1,421
繰延税金負債	3,067	3,153
その他の非流動負債	364	402
非流動負債合計	100,904	99,249
負債合計	183,558	172,459
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	6,016	6,027
自己株式	△2,692	△2,693
その他の資本の構成要素	34,289	29,515
利益剰余金	95,912	97,183
親会社の所有者に帰属する持分	140,070	136,577
非支配持分	1,935	1,794
資本合計	142,005	138,372
負債及び資本合計	325,563	310,831

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	48,251	48,314
売上原価	△35,360	△33,963
売上総利益	12,891	14,350
販売費及び一般管理費	△11,770	△11,995
その他の収益	186	629
その他の費用	△8	△31
営業利益	1,298	2,953
金融収益	2,133	285
金融費用	△181	△1,482
持分法による投資利益	65	65
税引前四半期利益	3,315	1,822
法人所得税費用	△419	418
四半期利益	2,895	2,240
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,826	2,264
非支配持分	69	△23
四半期利益	2,895	2,240
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	42.70	34.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	42.65	34.14

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	2,895	2,240
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	572	△160
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
合計	570	△161
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,565	△4,621
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	31	200
持分法適用会社に対する持分相当額	196	△307
合計	4,793	△4,729
税引後その他の包括利益	5,364	△4,890
四半期包括利益	8,260	△2,649
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,151	△2,509
非支配持分	109	△140
四半期包括利益	8,260	△2,649

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2024年1月1日	6,544	6,113	△2,753	5,717	19,049
四半期利益					
その他の包括利益				570	4,729
四半期包括利益合計	—	—	—	570	4,729
自己株式の取得			△0		
配当金					
株式に基づく報酬取引		5			
利益剰余金への振替				△9	
所有者との取引額等合計	—	5	△0	△9	—
2024年3月31日	6,544	6,118	△2,753	6,279	23,778

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2024年1月1日	30	24,797	89,724	124,426	1,862	126,288
四半期利益			2,826	2,826	69	2,895
その他の包括利益	24	5,324		5,324	39	5,364
四半期包括利益合計	24	5,324	2,826	8,151	109	8,260
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△992	△992		△992
株式に基づく報酬取引				5		5
利益剰余金への振替		△9	9	—		—
所有者との取引額等合計	—	△9	△983	△987	—	△987
2024年3月31日	55	30,113	91,567	131,589	1,971	133,561

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2025年1月1日	6,544	6,016	△2,692	6,846	27,350
四半期利益					
その他の包括利益				△161	△4,824
四半期包括利益合計	—	—	—	△161	△4,824
自己株式の取得			△0		
配当金					
株式に基づく報酬取引		11	△0		
所有者との取引額等合計	—	11	△0	—	—
2025年3月31日	6,544	6,027	△2,693	6,685	22,525

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2025年1月1日	92	34,289	95,912	140,070	1,935	142,005
四半期利益			2,264	2,264	△23	2,240
その他の包括利益	212	△4,773		△4,773	△116	△4,890
四半期包括利益合計	212	△4,773	2,264	△2,509	△140	△2,649
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△993	△993		△993
株式に基づく報酬取引				10		10
所有者との取引額等合計	—	—	△993	△983	—	△983
2025年3月31日	304	29,515	97,183	136,577	1,794	138,372

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,315	1,822
減価償却費及び償却費	2,704	2,753
受取利息及び受取配当金	△146	△175
支払利息	181	281
為替差損益(△は益)	△1,068	1,021
持分法による投資損益(△は益)	△65	△65
有形固定資産の除売却損益(△は益)	1	△6
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△455
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	1,179	1,128
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,854	△4,054
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△2,530	△58
契約負債の増減額(△は減少)	45	3,916
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△6
その他	△117	△1,106
小計	1,642	4,994
利息及び配当金の受取額	151	162
利息の支払額	△211	△222
法人所得税の支払額	△18,579	△724
法人所得税の還付額	—	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,998	4,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△724	△1,008
有形固定資産の売却による収入	4	106
無形資産の取得による支出	△86	△155
無形資産の売却による収入	0	—
資本性金融商品の売却による収入	25	—
連結範囲の変更を伴う関係会社株式等の売却による収入	—	5,798
事業譲渡による収入	—	610
短期貸付けによる支出	△1	△271
短期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781	5,079

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	22,397	305
短期借入金の返済による支出	△297	△349
リース負債の返済による支出	△865	△1,000
長期借入れによる収入	9,900	—
長期借入金の返済による支出	△10,399	△3,336
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△992	△993
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,742	△5,375
現金及び現金同等物に係る換算差額	913	208
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,876	4,122
現金及び現金同等物の期首残高	32,304	34,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,180	38,786

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

報告セグメントの識別方法、セグメント利益の測定基準について、当第1四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間における組織変更により、従来「工業部門」に属していた一部事業を「医療部門」に区分変更しております。上記に伴い、前第1四半期連結累計期間の数値についても変更後の区分に組替えて表示しております。

(2) セグメント収益及び業績

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	28,813	19,438	48,251	—	48,251
セグメント間の内部売上 収益又は振替高	86	—	86	△86	—
計	28,900	19,438	48,338	△86	48,251
セグメント利益 (△は損失)	723	1,437	2,160	△862	1,298
その他の項目					
金融収益					2,133
金融費用					△181
持分法による投資損益 (△は損失)					65
税引前四半期利益					3,315

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、△883百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、21百万円はセグメント間取引消去です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	29,515	18,799	48,314	—	48,314
セグメント間の内部売上 収益又は振替高	11	—	11	△11	—
計	29,526	18,799	48,325	△11	48,314
セグメント利益(△は損失)	1,705	1,733	3,439	△485	2,953
その他の項目					
金融収益					285
金融費用					△1,482
持分法による投資損益 (△は損失)					65
税引前四半期利益					1,822

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、△528百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、42百万円はセグメント間取引消去です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。